

空のムコウで つかんだもの

**世界に飛び出せ中高生
豪州ですてきな体験を**

本年度の青少年海外派遣事業
参加団員を募集します。

【派遣先】 オーストラリア

【派遣期間】 10月下旬（8日間）

【負担金】 5万円

【派遣資格・人数】 市内に住む中
学2年生から高校3年生15人以
内

【提出書類】 ① 青少年海外派遣事
業参加申込書 ② 作文（1200
文字以内） ※作文のテーマは、
市ホームページ、または市内中
高校に配布する募集チラシをご
覧ください

【応募締め切り】 6月30日（木）必
着※派遣団員は、作文および面接
審査の結果で決定します

【申し込み・問い合わせ】
企画部市民協働課（地域振興係）
☎ 0220（22）2173



**Haga
Hoho**

芳賀帆歩 登米高2年

自分でアメリカに行き
多くのことを学びたい



**Sato
Masayuki**

佐藤将幸 佐沼中3年

目標をかなえるために
語学力を高めたい



**Miura
Saki**

三浦咲紀 石越中3年

この8日間は大切な宝
将来は海外での仕事を



**Kumagai
Hiyori**

熊谷日和 佐沼高2年

伝わる英語を身に付け
積極的に国際交流する

最初は不安でいっぱいでした。最初は不安でいっぱいでしたが、現地の人たちの明るさや優しさに触れ、英語を話すことが、さまざまな人と交流することが楽しくなってきました。

下手な英語が伝わるか心配でした。ホストファミリーの皆様は、私の話すことを理解しようとしてくれました。そして日本のこと、私のこと、たくさん質問してくれたおかげで、話が花が咲いたのです。私も自分から話しかけることで、英会話が少し上達しました。

一緒に食事をしたり、遊んだり、どこかへ行ったり、さま

僕の将来の目標は、プロサッカーチームの監督になることです。夢は、海外のクラブチームで指揮を取ること。プロチームには、外国人選手もいるので、海外に行ってみようと思いました。

8日間の研修で一番楽しかったのは、現地の人と会話をしているときでした。空港などの事務的なものから、ホストファミリーとのジョークまで、学校で習った英語で会話できることが、何よりも楽しかったです。通じることより、通じないことの方がはるかに多かったです。でも、その中で少しだけうまくいった記

初めての海外。コミュニケーションの取り方や文化の違いなど、本当にたくさんあることを学んでくれました。この8日間は「自分の宝物」。本当に楽しかったです。

最初は、何もかもが初めてで緊張しました。店での買い物やアメリカ人との会話、ホストファミリーとの生活など、言葉も風習も違う場所での生活は、少し不安でした。しかし、みんなが親切に接してくれたので、緊張はすぐにほぐれました。

学校の勉強とは違い、英会話は難しかったです。でも、ホストファミリーの人たちや

ホームステイの受け入れや姉が海外派遣事業に参加した影響で、ずっとアメリカに行きたいと思っていました。念願のホームステイができてうれしかったです。

最初は、自分の英語が伝わるかとても不安でした。ホストファミリーも、それ以外の人たちも、私の伝えたいことや思っていることを理解しようとしてくれました。正しい英語を使うことはもちろんですが、身ぶりや表情も重要なコミュニケーションの一つだと学びました。英語は、学校の勉強で文を書いたり考えたりするだけではなく、相手に

さまざまなことを一緒に体験。一緒にいるときは、笑顔が絶えず本家の家族のようでした。お互いに、伝えたいことが伝わらないこともありましたが、ただ、その努力をしたことで、お互いに分かり合えたと思います。たくさんさんの優しさに触れたことで、あらためて人と関わること、お互いを思いやる大切さを感じました。

研修を通して、一つの目標ができました。それはもう一度アメリカに行き、自分の力でもっといろいろなことを学ぶことです。

今回の研修でいろいろな人に出会いました。その中で、

憶が、僕の頭から離れません。強く心に残っているのは、景色の美しさです。アメリカは、どこへ行ってもきれいな自然やすてきな人工物があり、写真で伝えられない美しさにあふれていました。テレビやインターネットではなく、実際に見ることで、より感動する景色に出会えました。とてもよかったです。

ホームステイで一番感じたのは、英語の未熟さです。話し、伝えることはダメで、聞き、理解することはもっとダメでした。昨年夏にアメリカ行きが決定してから、英語の勉強は真剣に取り組んできま

町の人たちは、私聞きやすいようゆっくり話してくれたり、うまく話せずにいても、笑顔で待ってくれたりしてくれました。「アメリカの人たちは優しいな」と感じることも多かったのです。

あちらでは、多くの人たちが声をかけてくれ、話をしてくれました。とてもうれしかったので、私もいろんな人に話しかけ、積極的にコミュニケーションを取るようになりました。

ホストファミリーとの生活は楽しかったです。うまく英語が話せないで、ジェスチャーなどを加えて、物事を

伝えられるものを身に付けていきたいです。

アメリカは個人主義のイメージがあり、冷たい人が多いと思っていました。それは私の大きな勘違い。

町中では、そちらこちらから「ソーリー」と相手に謝ったり気遣ったりする声が聞こえてきました。体格の良い怖そうな黒人が、チップを貰った時に「僕のお昼をありがとう」と笑顔で話していました。感謝の表現も独特で、現地で生活しないと分からない文化だと感じました。

ホームステイで感じたのは、家族仲がとても良いとい

うことです。日本で、お父さんやお母さんが、子どもの目の前でキスすることは余りないと思います。アメリカでは日常でした。家族同士で抱きしめるなど、その愛情が伝わってきました。またアメリカの人たちは、あまりテレビは見ず、みんなでボードゲームをするなど、家族で触れ合う時間を大切にしているのが印象的でした。

6月にホームステイの受け入れをします。私がしてもらったように温かく迎えて、日本の良い文化を伝えたいです。これからも積極的に国際交流したいと思っています。

以上が理解できず、伝えることは、かなりスマートフォンのお世話になりました。少し、後悔の残る思い出です。

良いこと、少し後悔したことなど、さまざまな思い出があります。その全てに「言葉」があり、それが通じなかったから、しっかりと話せば、もっと楽しめたと思います。いつになるかは分かりませんが、もっと英語などを勉強し語学力を高めて、海外に行きたいです。そして、もっと積極的にコミュニケーションを取っていききたいと思っています。

伝えました。こちらの思っていることが通じたときはとてもうれしかったです。吹奏楽部に所属していると話したら「ドラムを叩いて」といわれました。突然のことでしたが、びっくりしましたが、みんなが拍手をしてくれました。8日間は短く、もったいなかったです。

アメリカでの生活を経験して、将来は海外で仕事してみたいと思います。英会話などを勉強して頑張りたいです。

今回の挑戦は、良い思い出、経験になりました。この経験を生かして、これから生活していきたいです。

うことです。日本で、お父さんやお母さんが、子どもの目の前でキスすることは余りないと思います。アメリカでは日常でした。家族同士で抱きしめるなど、その愛情が伝わってきました。またアメリカの人たちは、あまりテレビは見ず、みんなでボードゲームをするなど、家族で触れ合う時間を大切にしているのが印象的でした。

6月にホームステイの受け入れをします。私がしてもらったように温かく迎えて、日本の良い文化を伝えたいです。これからも積極的に国際交流したいと思っています。